

甘夕

# 石城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四  
編輯兼發行人 関田弘成  
發行所 石城郡平町紺屋町十四  
廣告料 一部金武錢一ヶ月金參拾錢  
▲日刊(日曜、祭日)休刊

## 議會解散と 代議士の歸郷を待つて 政友・民政對策協議

衆議院議員は何人もが豫期したの再起が最も實現の可能性あり

陣容を固む  
郡南政友

平地方に

感冒流行  
磐中の比佐六平君が

殺人事件公判  
渡邊村の

冷蔵獎勵金申請  
▲冷蔵獎勵金申請

石城郡江名町江名冷蔵合資會社  
では水產物の冷蔵を目的として  
大冷蔵庫を建設することになつた  
ので今回知事に對して獎勵金  
の申請をして來た。

島裁判長係竹田、關口兩判事陪

席市川檢事關與武田、山野邊兩

辯護士立會の上開廷保釋出獄中

の兩被告は何れも紳紳の裕羽織

で出廷中島裁判長事實審問に對

して兩被告とも素直に認め終つ

て山野邊辯護士から被告は最初

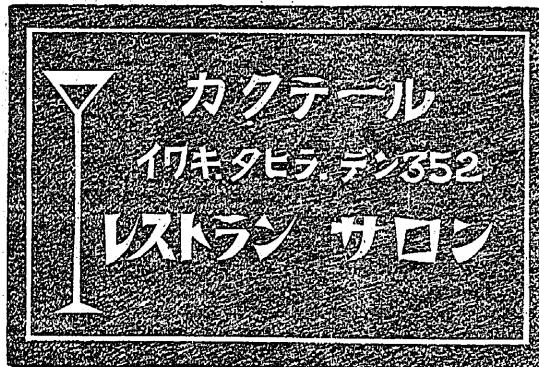
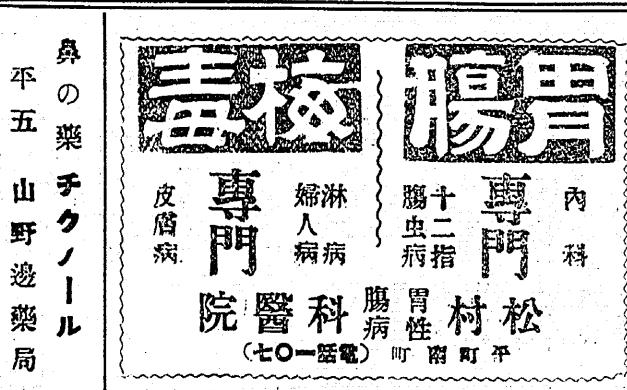
に豫め終つた。

兩被告は歸宅を許されたか當日

玉川信用組合

結局解散が

石城郡玉川村信用組合は前幹部の放漫な貸出しが祟り破産状態に陥つたのを村長駒木根忠三氏等が更生を計り昨秋役員全部を改選して陣容を整へたが最近借入金問題に就て某役員がだゞ一人調印を拒んでる爲組合では困惑し善策を講じてゐるが結局は組合は解散する至るものと見られてゐる。



**正** 汽水付  
抽籤貰個入 箱一枚  
外に抽籤券一  
絶對に値上げ致しません  
來二月七日 舊正月二日(まで)

平町田町(電話五一三番)  
高久病院  
 錦屋酒店  
 銀治町谷口酒店  
 南町志賀酒店  
 田町永山酒店  
 電話二四六番  
 電話五九〇番  
 電話二〇七番

平町田町(電話五一三番)  
高久病院  
 醫學士高久  
 新潟醫學士赤羽久  
 藥劑士佐竹菊雄  
 耳鼻咽喉科  
 小兒科  
 外科花柳病科  
 離子トゲン科  
 離子清忠

吉田眼科病院  
 特約店 大平屋藥店  
 高級治淋新藥  
 トリップチン  
 電話六四二番  
 平町紺屋町電話六八番  
 吉田眼科病院  
 特約店 大平屋藥店  
 電話六四二番  
 平町紺屋町電話六八番



和洋銅鐵金物問屋  
 木村外科醫院  
 平町六丁目橋際  
 電話三〇九番

外花柳病科専門  
 木村外科醫院  
 平町六丁目橋際  
 電話三〇九番

かよばく造  
 式儀折詰仕出  
 お惣菜用  
 さつま揚  
 吉原揚  
 平町一丁目  
 電話一四一  
 電話一四一  
 電話一四一

藤沼醫院  
 内科小兒科  
 花柳病科  
 諸橋久太郎  
 平町紺屋町  
 電話九九九番  
 (入院應需)

科  
 門  
 痘室完備  
 上田外科醫院  
 電話一二九番  
 光線科  
 入院應需

冬の洋服  
 御召替の節となりました。  
 皆様の御気に召す品を豊富に取揃へて御座ひます。  
 細目サージ背廣￥12.00  
 ワッズデッド背廣￥11.00  
 黒サージ立襟上￥5.30  
 オーバー···￥4.50  
 あかや洋服店 平電203

母万代儀豫て病氣中の處養生不相叶去る  
 二十日午後七時四十分永眠致し候間此段  
 御通知申上候  
 追て葬儀は來二十三日午後一時自宅出棺長橋町性  
 源寺に於て佛式を以て相營可申候  
 昭和七年一月二十一日  
 平山町  
 友人男  
 総代親戚  
 關柏諸桑馬中同同  
 橋原目村  
 久容正  
 立盤轍春  
 一吾郎軒郎躬麿郎遜